

株式会社愛媛CATV
第30回番組審議会 議事概要

第30回番組審議会は、令和元年6月25日（火）、株式会社愛媛CATV5階会議室において、6名の審議委員が出席し開催。審議会では、会長進行のもと、「CATV番組・最近の取り組みについて」と『ぎょしょく教育の公開授業「ブリの解体による命の授業」』を視聴し、それらに関する審議を行った。

■出席委員

会長 桐木 陽子（松山東雲短期大学教授）
委員 高山 正志（テレビ愛媛常務取締役）
委員 池野 光則（愛媛県企画振興部政策企画局情報政策課課長）
委員 薬師神 権祐（星企画株式会社代表取締役社長）
委員 埜下 幹生（松山市在住愛媛CATV加入者）
委員 木戸 晴啓（愛媛大学メディアサポーターズ映像部副部長）

■諮問番組

『ぎょしょく教育の公開授業「ブリの解体による命の授業」』

■主な発言

「CATV番組・最近の取り組みについて」について

- ・おしらせチャンネルの自動読み上げシステムはAIですか。
- AIと表現してもいいかもしれない。受信したメールを自動的に文字変換し、自動的に読み原稿に変換したものを音声読み上げのシステムに流し込んでいる。災害情報なので時間勝負。避難情報が出たときに自動的に切り替わって流れるところまで自社で作った。
- ・おしらせチャンネルの自動読み上げシステムは町内放送、館内放送等いろいろなところで活用できそうですね。
- ・この放送地区を広げる予定はないのか。
- 現在、市町のくくりが愛南町とそれ以外。将来的にそれぞれの市町ごとに細分化できれば。
- ・昨年一昨年と防災を担当していたので非常に興味深く聞いていた。勧告の上に指示があるが、そこもカバーしているのか。
- カバーしている。今で言うとレベル3以上で出るようになっている。
- ・このチャンネルを見ていないと見ることはできないのか。
- 自動で切り替わるのはおしらせチャンネルだけ。確率を上げるという意味で、当社の他のコミュニティチャンネルも切り替えることはできるので、情報の重要性によって判断。
- ・防災に関わる立場として情報の内容によっては強制的に割り込むような形になると良いと思う。
- ・おしらせチャンネルは1画面にたくさんの情報がある。1画面に情報を詰め込むのは色々な意見はあると思うが良いと思う。最近は朝起きたらまず見るようにしている。県議選やeスポーツなど今の「生」を見せるというのが、民放では編成の都合でできないことで、CATVならではのと思う。見ている人にとって有意義で楽しいと思う。
- ・視聴者からの投稿番組について、放送するために加工はしないのか。許諾を取っていることを確認して放送しているのか。
- 基本的に加工はしていません。昨年放送した14本は当日いただいて当日放送。許諾確認は行っている。

- ・とても多くのサポーターがいるような感じですね。
- ・アーカイブは要望を出したら見せてもらえるのか。
- これから取り組んでいきます。

- ・視聴者からの投稿動画でお祭の紹介だったが、たとえば台風やつむじ風の情報もあれば良いと思う。
- ・サポーターのアワードを作ってみても面白いかもしれない。

『ぎょしょく教育の公開授業「ブリの解体による命の授業」』について

- ・小学生にとってショッキングな映像は脳裏に焼きついたのではないかと思うし、面白い取り組みだと思った。ただし、中学生や高校生に活かせるかというと変わってくると思う。
- ・大変勉強になった。こういう授業を今後展開していくべきだと感じた。解体のリアルな様子を見て子どもたちも感じるものがあつたと思う。今回東京と愛南町でしたが、この子たちが大きくなつても小学校の授業の時の「愛南町」というのが記憶に残っていくと思う。良い取り組みで違う横展開も広がっていくのではないかと感じた。また保護者の方に見ていただいたのも大変良いと思う。
- ・(放送中、子どもたちが職員が解体したブリを) 食べたらいけない理由があるのですか。
→調理師免許の関係だと思う。
- ・できるならせっかくさばいたものを子どもたちが食べる様子があると良かった。このパターンができるとデパートやお祭りなど色々なところで展開できますね。
- ・良い企画だと思う。ビジネスで使えそうだと思う。
- ・今回これを見た子どもは魚をハサミでさばくと思うのではないか。
→思うかもしれないが、愛南町の兵頭さんとしては実際にハサミを上手く使うと魚も上手くさばけるというのを教えたいという思いもあるようだ。

以上、これらの発言いただいたご意見を今後の制作に役立てるとことをお伝えした上で、引き続き、愛媛CATVの番組をご覧いただき、気付いたことは何なりとご指摘いただくようお願いし、番組審議会を終了した。

以上